

平成31年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	農を基盤とした理工系グローバル人材養成:ICT を活用した英語習熟プログラム	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	農学部	
※連携する他学部・機関 がある場合は記入	「MILESTONE 英会話」学校(長野県伊那市), 国際農学教育研究センター, 国際学術交流協定を締結した機関	
実施責任者(所属)	山田 明義 (農学部)	
取組の目標	グローバル社会に適応し活躍できる農を基盤とした理工系グローバル人材の養成	
1. 目標達成のために行った 活動と成果 (箇条書きで項目ごとに 番号を付けて記載。成果 の詳細は必要に応じて別 添とする)	<p>1. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き学生向け英語スキルアップ講座を開講した。(16名)</p> <p>2. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き, 留学や海外実習を予定している学生向けの英語講座を開講した。(9名)</p> <p>3. 上記1の講座受講生に6月及び12月開催のTOEIC-IPテストを受験させ, 能力測定を行った。</p> <p>4. 国際学術交流協定締結大学の講師による授業風景を録画し, eALPSにて公開することで, 学生の留学に対する興味関心を高め, 自身の英語理解力を試す場を提供した。(タイ:スラナリ工科大学, ドイツ:ロッテンブルク林業大学)</p>	
2. 目標達成度に関 わる所見と今後 の展望 (達成の度合い を選び, そう評価 する理由と今後 の展望を記述)	<p>a. 達成できた</p> <p>⑥. おおよそ達成できた</p> <p>c. 半ば達成できた</p> <p>d. おおよそ達成できなかった</p> <p>e. 達成できなかった</p>	<p>(評価理由)</p> <p>英語スキルアップ講座では, 入門コースと留学準備コースの2コースを用意し, 学生の能力に合ったレベルの講座を受けられるようにした。講座終了時に行ったアンケートでは, 「スピーキングを練習できる良い機会となった」や, 「英語に対する親しみを持てた」等, 好評な意見が多く得られた。6月と12月に実施したTOEIC-IPテストではそれぞれのスコアに大きな伸びは見られなかったが, 一方で, 講座を受講した学生の多く(14名)が留学や海外実習への参加をしており, 実習前後の自己評価の場として前後期通しての受講を希望した学生も見られた。また, 新たな取り組みとして海外大学講師による授業風景をeALPS上で公開することで, 自宅において海外留学の模擬体験をし, 留学に対する関心を高めることのできる場の提供ができた。</p> <p>(今後の展望)</p> <p>農学部においては「海外農学研修 I・II」の新設により, 海外でのより幅広い活動が単位として認められるようになり, 海外実習へ参加する学生の増加が予想される。また, 令和2年度からは新たに修士課程に英語プログラムが設置されることにより, 今後は学内においても外国人留学生と接する機会が増加することで, より一層グローバルな視点を持ったコミュニケーション能力の向上が求められる。そのため, 今後もイングリッシュサロン・グローバルサロンへの参加や海外実習・留学等を積極的に促すことで, 異文化への理解や海外への興味を喚起させ, グローバル社会に適応できる人材の育成へと繋げていく。</p>